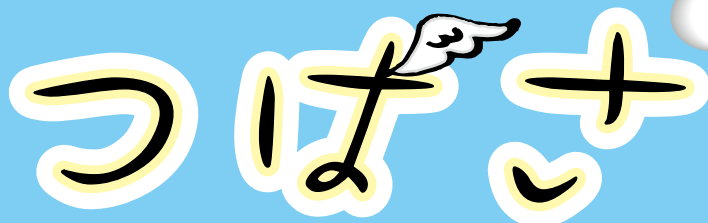


Community Medicine
— 地域医療の架け橋 —

2026年夏号

第 88 号



地域の皆さまに信頼される病院として
安全で質の高い医療を提供します。

独立行政法人地域医療機能推進機構
神戸中央病院
〒651-1145
神戸市北区惣山町2丁目1-1
TEL 078-594-2211
FAX 078-594-2244
<http://kobe.jcho.go.jp/>



整形外科

整形外科は頸部より末梢の運動器の疾患に対する治療介入を行っています。

当院は神戸市北区の二次救急を受け入れる施設でもあるので、骨折などの救急外傷も可能な限り受け入れ、年間手術件数の約半数が外傷手術を行っています。併せて慢性疾患（変形性関節症、脊椎疾患）についても人工関節や関節温存の骨切り術などを患者さんの状態に併せて適切な術式を選択の上、提案し施行しています。

また、大腿骨近位部骨折（大腿骨頸部骨折、大腿骨転子部骨折）についてもより早く離床し、リハビリテーションを開始できるように全身状態を勘案し、より早期の手術を予定しています。その後は骨密度等の評価をした上で骨粗鬆症治療の介入を開始もしくは更新し、次に骨折を起こらないよう予防する「二次骨折予防」ができるように治療介入しています。神戸市北区は高齢化率が30%を超過し坂道が多い立地であるため移動手段としての歩行が少ないためか、骨密度が少ない方を散見します。

そこで当院では骨粗鬆症リエゾンチームを数年前より結成し脆弱性骨折で入院された患者さんの二次骨折予防ができるよう系統的に治療介入をしています。

脊椎における椎体骨折についても除痛ができるよう低侵襲な手技で椎体形成術を行い早期離床、退院に向けてのアプローチをしています。

神戸市北区の整形外科治療を神戸市北区内で完結できるよう整形外科医師、歯科医師、看護師、リハビリテーション科の理学療法士・作業療法士、管理栄養士、放射線技師、歯科衛生士、メディカルソーシャルワーカー、クラーク等のチームで治療介入を行って参りますのでよろしくお願い申し上げます。

副院長・整形外科部長 岡山 明洙



近隣医療機関のご紹介

くらた内科・リウマチ科クリニック

〒651-1221 兵庫県神戸市北区緑町2丁目3-24 福田ヶ辻ビル3F

TEL 078-582-8788

診療科目：内科・リウマチ科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	×	●	●	●	●	●	×
14:00～17:00	×	●	●	●	●	●	×



◀クリニックHP



倉田 雅之 院長



皆様、こんにちは。2026年2月に新規開業しました、くらた内科・リウマチ科クリニックの院長倉田です。当院は神戸電鉄山の街駅から北へ徒歩7分の所にあります。

私は2008年より神戸市北区で内科診療に携わり、リウマチ・膠原病そして血液疾患の患者さんの担当させていただきました。この経験を生かし、神戸市北区では数が少ない、内科医が担当するリウマチ科のクリニックを開設しました。患者さんの痛みだけでなく、人生に向き合うクリニックであることを、スタッフ一同目指しております。また、内科クリニックとして高血圧、高脂血症などの生活習慣病などはもちろん、発熱、腹痛などの急な体調不良、抗がん剤治療中の悩み相談などにも広く対応しております。困った時にお気軽にご相談下さい。

院内設備としては、発熱対応の個室、迅速検査が可能な血算・生化学測定器を備えました。また、骨粗鬆症への対応のため、最も精度が高いDEXA法による骨塩定量装置を導入しております。

JCHO神戸中央病院、神戸市立医療センター中央市民病院等のご施設から連携医登録をしていただいております。基幹病院との連携を通じて、より皆様の診療のお役に立つ所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

第118回摂津会を開催しました

栄養管理室 管理栄養士 村上 愛実

5月21日(木)、第118回摂津会を開催しました。「摂津会」とは、当院の糖尿病患者さんの患者会のことで、毎年春と秋に会員様やご家族様にお集まりいただき、勉強会を行っています。

栄養管理室からは、1食のエネルギー量を約560Kcal・塩分2.5g未満に抑えたお弁当を提供させていただきました。調理師と栄養士がペアを組み、限られた制限の中でのなるべく豪華に、なるべくおいしいお弁当を食べていただけるよう工夫をこらしました。今回初めて担当させていただきましたが、「これは自宅でも作ってみます」という声をいただき、とても嬉しくなりました。食事後は当院糖尿病内科部長中島先生にもご講演いただき、皆さん真剣に勉強されていました。

.... お品書き

- 豆ごはん
- ハモの湯引き
- ズッキーニのおひたし
- さつまいもサラダ
- ブロッコリーの炒め物
- キャベツの酢の物
- 野菜の煮物
- じゅんさいのすまし汁
- 果物（メロン）



摂津会は随時会員様を募集しております。患者様同士の情報交換の場にもご活用ください。次回は11月12日を予定していますのでご興味ある方は、ぜひスタッフまでお申し付けください！

セミナー1部

第23回 市民医療セミナー 知っておきたい、腎臓とその関連疾患の知識

セミナー2部

第14回
北区在宅医療・介護セミナー
人生会議を始めよう
～今からできる
「わたしのこれから」～

味覚と慢性腎臓病について



腎臓内科診療部長
亀崎 通嗣

腎臓は頑張り屋なので、腎機能がかなり落ちて、残りの細胞がフル稼働するため、症状は出ません。このため、CKD患者さんは症状がなくても意識的に減塩を行い、透析導入を回避する必要があります。しかし、日本食は世界の中でも塩分が多い食事であり、知らぬ間に塩分を過剰に摂取し、腎機能が悪化していくケースを散見します。従って、塩味を少しでも認識できるように、歯科で口腔ケアをしてもらうことが重要です。また、減塩をしているうちに、舌が薄い塩味でも認識できるようになるため、地域全体で減塩を行い、神戸市北区の透析導入を減らしていきましょう。

腎臓を守る生活と食事



外来・内視鏡 副看護師長
八田 千恵

市民医療セミナーにご参加いただき、ありがとうございました。今回のセミナーでは、日頃から透析予防指導に携わる看護師として、「腎臓を守る生活と食事」をテーマにお話しました。今回、家庭血圧の測定や適切な水分摂取、薬との付き合い方など、毎日の生活で実践できる内容をご紹介しました。当院では医師、栄養士、看護師が連携し、透析予防に向けた生活支援を行っています。腎臓について気になる事がありましたら、まずはかかりつけ医へご相談下さい。

腎臓を守る生活と食事



栄養管理室 副栄養管理室長
管理栄養士
谷田 千展

この度は市民医療セミナーへのご参加ありがとうございました。今回、腎臓がテーマということで、腎臓の機能低下を予防するための食事についてお話をする機会をいただきました。改めて予防のためには、日頃の食事管理や血圧管理が大切だと感じました。今回の内容が、食生活や生活習慣を見直すきっかけとなり、減塩の工夫など、実際の食事に役立っていただければ幸いです。

セミナー会場



別会場



セミナーの
ようす

受付



おくすり相談



検診



塩味チェック



塩味チェックポスター



栄養相談



相談
コーナー



メディカル ライン

《医療機関向け》

整形外科 波多野 克



骨粗鬆症性椎体骨折と当院における脊椎診療

本年4月より、神戸中央病院整形外科に常勤医師として赴任いたしました。これまで脊椎外科を専門とし、頸椎から胸椎、腰椎まで幅広い脊椎疾患の診療に携わってまいりました。

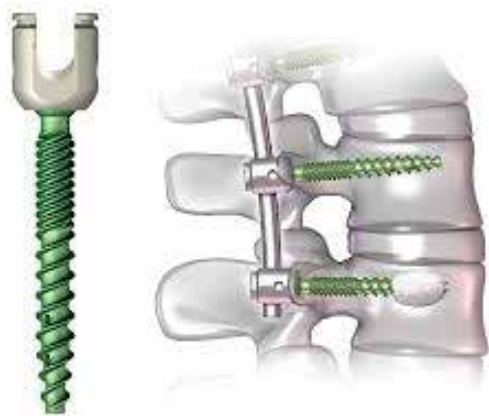
高齢化に伴い、骨粗鬆症を背景とした脆弱性骨折は増加しています。なかでも骨粗鬆症性椎体骨折は、軽微な転倒や日常生活動作を契機に発症し、明らかな外傷歴がないこともあります。多くは装具療法での保存的治療によって改善しますが、一部では椎体圧潰や偽関節を生じ、疼痛遷延、後弯変形、遅発性神経障害により歩行能力や日常生活動作が大きく損なわれます。

そのため、必要に応じてMRIを施行し、予後不良を示唆する所見の有無を早期に精査することが重要です。予後不良が予想される症例では積極的な治療介入も検討します。疼痛が遷延する症例などには、比較的短時間で実施できる経皮的バルーン椎体形成術を行います。後方固定術の併用が必要な場合にも、小切開から経皮的にスクリューを挿入し、筋組織への侵襲や出血量の軽減に努めています。また、骨粗鬆症が高度な症例では、近年本邦に導入された骨セメントによるスクリュー補強（下図）の併用も取り入れております。

当院では、脊椎疾患に対し、昨年度は約50例の手術を施行しました。本年度から私が常勤医師として加わり、骨粗鬆症性椎体骨折をはじめ、頸椎症性脊髄症、腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど、幅広い脊椎疾患に対応してまいります。

北区には骨粗鬆症を有する患者さんが多くいらっしゃいます。骨折後の治療にとどまらず、骨粗鬆症の適切な評価と治療を通じて、初回骨折および二次骨折、ドミノ骨折の予防にも力を入

れてまいります。地域の先生方との連携を大切にしておりますので、治療に難渋する腰背部痛や神経症状を認める患者さんがおられましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



◀Depuy Synthes社 HPから引用